

事務事業評価表

○基礎情報

課名		農業委員会事務局	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	-	農地の適正で有効な利用を図る	岩澤 健治	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	4 人	1 人	0 人	1 人	36 時間	0.8 時間

1 施策指標と実績 (Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
耕作放棄地面積	25.8ha	30.4ha	25.8ha	27.1ha	30.8ha	27.2ha
0	0.0%	0				
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね (80%) 達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね (80%) 達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業 (中核市関連のものを含む)
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった (実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績 (平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果	Plan / Do								総合評価 (Check)			Action		
		何を・誰を (対象)	どうやって働きか (手段・方法)	どうしたいか(生ま れる成果・効果)	事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定
1	農地台帳の整備及び活用	農地情報の把握管理及び利用促進を図り、農業委員会所掌事務を的確に実施する。	政策	0.65	一般	826,000 447,120	448,000 447,120	台帳の補正回数	年12回	年12回	S	変動なし				
2	違反転用対策	違反転用の早期予防及び是正指導を行い、農地の適正利用を図る。	定例 定型	0.28	一般	0 0	0 0	神奈川県との連携による是正措置件数	2件	0件	A	変動なし				
3	議事録の作成及び公開に係る事務	農業委員会総会の議事録を作成し、公開することで、審議過程の透明性を確保する。	定例 定型	0.03	一般	393,000 285,120	387,000 252,720	議事録作成及び公開の回数	13回	13回	S	変動なし				
4	県農業会議及び農業委員会職員事務研究会に係る事務	農業会議等が主催する各種研修会へ出席し、事務局職員の資質向上を図る。	定例 定型	0.06	一般	326,000 295,080	317,000 281,000	研修会等の回数	15回	31回	S	増加				
5	農業の発展、推進に関する事業	地域農業関係機関等との交流を図り、農業の発展、推進に寄与する。	定例 定型	0.20	一般	41,000 39,400	43,000 40,700	農業委員会会長賞の交付件数	年16回	年13回	S	変動なし				
6	農業委員の研修会及び視察等の開催	農業委員が研修会等を通じて、関係法令についての専門知識を取得する。	定例 定型	0.05	一般	94,000 27,200	98,000 40,160	研修会等の回数	16回	10回	A	変動なし				
7	農業委員会事務管理	農地法等に基づく法令業務の適正な執行により、農地の有効利用を図る。	定例 定型	2.73	一般	1,301,000 1,290,301	1,288,000 1,258,074	農地法第3、4、5条許可等処理件数	300件	326件	S	変動なし				

8	農業委員会総会等の開催	農業委員会総会において、許可申請等の案件を適正に審査する。	定例 定型	0.83	一般	10,457,000 ----- 10,201,000	9,975,000 ----- 9,847,340	総会の回数	13回	13回	S	変動 なし			
9	農業者年金業務	農業者年金制度の周知・普及推進活動をし、農業者の老後生活の安定を図る。	定例 定型	0.08	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	新規加入者数	1名	1名	S	変動 なし			
10	遊休農地の有効利用に係る事務	市内全域の農地の利用状況調査等を実施し、農業振興地域を中心に遊休農地の解消を図る。	定例 定型	0.80	一般	285,000 ----- 283,887	290,000 ----- 285,764	遊休農地の解消面積	2ha	2.2ha	S	変動 なし			
11	災害応急対策活動	-	定例 定型	0.05	一般	0 ----- 0	0 ----- 0								
12	庁内共通事務	-	定例 定型	0.38	一般	0 ----- 0	0 ----- 0								
合計				6.12		H29総予算(円) ----- H29総決算(円)	12,846,000 ----- 12,452,878								

### 3 実施計画事業の総括評価

#### 人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

農業委員会事務局の平成29年度における事務事業数は12事業であり、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」を除くと10事業である。これらの事業の評価結果は、「S」8事業、「A」2事業となっており、指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できた事業が8事業、達成できなかったものは2事業であり、概ね順調に事業が実施できた。事業の成果に着目すると、全ての事業において成果を出すことができたと考えている。事業No.6「農業委員の研修会及び視察等の開催」については、県、農業会議、湘南地区農業委員会連合会等の研修会が予定されていた。関連法令の改正に関することなど、同内容の研修については見送りとしたために指標の目標値は達成できなかったが、成果はあがっており、「A」評価としている。

29年度は農業委員会が新体制に移行し、農業委員会等に関する法律や農地法等、業務に関係する法改正が重なる中、事務局職員は各種研修や説明会に積極的に参加することで知識の習得に努め、効率的に業務を行うことができた。30年度は職員が1名減となっており、更なる業務の効率化を図る必要がある。

### 4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-

### 5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
-	-	働き方の見直しとして、業務に優先順位を付けて効率的に仕事を行うことで、28 - 29年度の2か年の時間外数は、それぞれ37 - 36時間であり、26年度の975時間、27年度の195時間と比べて大幅な削減となった。